



エコレポ Vol.7

～忠岡町環境・衛生通信～

数字で見る忠岡町のごみについて②

こんにちは、
ただお課長です！
突然ですがクイズ
です。



Q 最近の忠岡町のごみ排出量は…
① 減ってきている ② 増えてきている

A

① 減ってきている

そこで、今回は各年度のごみ排出量データから、ごみの減量について考えてみましょう。



近年のごみ排出量の推移ってどんな感じ？

一般家庭ごみや粗大ごみについては、年々排出量が大きく減少しており、令和6年度では対前年度比で一般家庭ごみが約19%、粗大ごみが約14%と大きく減少しています。

一方で、資源ごみについては「缶・ビン」では令和6年度に大きな減少が見られるものの、「ペットボトル」、「その他プラ」については、人口の推移とほぼ同様に推移しており、1人あたりの排出量では大きな増減は見られない結果となっています。

項目	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人口	人	16,803	16,690	16,577	16,382
一般家庭ごみ	t/年	2,949.45	2,750.97	2,603.93	2,108.42
粗大ごみ	t/年	309.02	296.74	310.24	253.09
缶・ビン	t/年	214.25	205.43	187.01	143.34
ペットボトル	t/年	53.71	52.26	49.47	50.09
その他プラ	t/年	190.35	183.96	173.43	175.39
(計)	t/年	3,716.78	3,489.36	3,324.08	2,730.33



着実にごみが減ってきていることが分かるね！



費用面への影響は？

忠岡町では、令和6年度から公民連携によるごみ処理事業を進めており、ごみの量に応じて処理費用を負担する方式であるため、忠岡町全体としてのごみを減らせば減らすほど、費用負担は少なくなっています。令和6年度における大幅なごみ減量は、年間約2124万円程度のごみ処理費用削減に寄与しています。



この調子でどんどんごみを減らしていこうね！

家庭用生ごみ処理機器購入助成

忠岡町では、ごみの減量化対策の一環として、家庭用生ごみ処理機器を購入する方に助成金を交付しています（要件あり）。

生ごみ処理機器には以下の2種類があります。

- ① 熱や遠心力で水分を少なくするもの
- ② 土の力で生ごみを分解するもの

下記を上限額とし、本体価格の2分の1の額を助成します。

【助成金額】

- ① 最大2万円まで
- ② 最大3000円まで



先着順につき、お早めに！
詳細は上記のQRコードから！

エコレポを
データで
見る



公民連携
ごみ処理
事業概要

